



2024-25年度 RI会長
ステファニー A. アーチック



No.3582 2月18日(火)

● 本日の卓話

「外部卓話」

和歌山市長
尾花正啓さん

● 次週の卓話

「人生を愉しくする言葉の力」

中野 律さん

● 先週の例会記録

- ✳️ロータリーソング 奉仕の理想
- ✳️ビジュア紹介 東京中央RCより北崎 隆さん
- ✳️出席報告 (会員数76名、免除会員1名)
本日出席(2/4) 49名 64.47%
- ✳️メイキャップ 和中華へ3名、アゼリアへ3名
- ✳️S. A. A. 野井和重さん、松井良樹さん、
(ニコニコ箱) 田村歆彰さん、高 誠さん、
中野智一さん、木綿紀文さん、吉田友之さん、
岩西智宏さん、慈幸信治さん、山本雄太さん、
島村安昭さん、岡野正樹さん、竹中喜廣さん

本日合計 ¥49,000 今年度累計額 ¥1,390,000

- (財団寄付献金箱) 野井和重さん、松井良樹さん、田村歆彰さん、
高 誠さん、野志幸生さん
- (米山奨学会献金箱) 野井和重さん、松井良樹さん、田村歆彰さん
- (青少年育成奨励金) 野井和重さん、松井良樹さん、田村歆彰さん

2月は平和構築と紛争予防月間です



誕生日お祝い



米山記念奨学会 表彰(1/28ご欠席分)
木綿紀文会員

● 会長あいさつ

会長 野井和重

【日本建国と紀ノ國】

みなさん次週11日は建国記念の日と呼ばれる祝日で例会は取りやめになっています。字の通り建国の日という事で日本が誕生した記念日であります。私的には大東亜戦争以前の呼称である「紀元節」と呼びたいのですが、昭和23年に廃止されています。もうご存じであると思いますが、日本建国のおさらいを超簡単にしたいと思います。記・紀神話の通り『神武東征』という事象がありました。神武軍が宮崎県的美々津を出港され、安芸、吉備と瀬戸内海の豪族を制圧しながらヤマトの地を目指し大阪湾にはいり、そこで神武の兄君ヒコイツセノミコトが毒矢に撃たれ「日の神の子の我々が日に向かって戦う事（日の出の向き）は天に逆らう事」と悟り紀伊半島を迂回し大阪湾を南下するのですが、その途中ヒコイツセは和歌山市の雄湊の水門吹上神社（えべっさん）でお亡くなりになり、竈山神社にお祀りされている というお話は以前にしましたが、紀ノ川河口から和歌山市内に入り、紀さんのご先祖様である名草戸畔と戦うのですが、その勢力があまりにも強く、紀ノ川を上流にすすむ事は困難と判断し、やむなく船団を紀伊半島の有田、田辺、すさみ、串本、那智勝浦、新宮と南下させました。しかし船は熊野の楯ヶ崎で座礁してしまい、そこからは熊野の険しい山岳を歩いて北上するのですが、そこで現れたのが熊野の神の使い「ヤタガラス」であります。険しい山道をヤタガラスの導きで戸津川村、玉置

神社付近を通ってヤマトに向かいます。そして大阪で破れた敵豪族ナガスネヒコを制圧し橿原の宮で神武天皇が初代天皇となり、おつくりになったのがヤマトの国、日本であります。それが今から2685年前の2月11日という事になります。神武東征では各地で戦闘になったわけですが、あちらこちらの神社の由緒をみていくと、全ての地の豪族とされる神々は戦闘後好意的に神武軍を助け日本という国ができたのだと感じます。まさに「八紘一宇」の精神であります。この4文字は残念ながら現在はほとんど使われませんが、神武天皇が建国の際に発せられた言葉であり、意味は「天の下にひとつの家のような社会を築こう」という素敵な理念であります。次週2月11日の紀元節にはその言葉を思い出し、日本建国と紀ノ國和歌山との深い深いつながりにロマンを馳せてみてください。

会 長 報 告

2月は「平和構築と紛争予防月間」です。我々ロータリアン、とりわけ日本国のメンバーは世界平和の為に何ができるのかを考えていかななくてはなりません。政府というと近隣諸国の動向が気になりすぎ、本音ができません。アメリカは愛国心がとんでもなく大きい大統領となり、強引にも思える発言や政策が始まりましたが、いま起きている紛争がどうなっていくのか見守りたいと思います。

2月23日はロータリー創立記念日

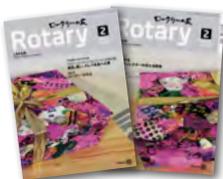
幹事報告

- 例会変更のお知らせ (岩出RC、粉河RC、有田RC)
- 配布物について (確定申告用の寄付金の領収書・東京RC熊平様からの小冊子)
- ガバナー月信2月号のご案内
- 3月1日のインターシティミーティングについて (23名出席予定)
- 2月18日の次年度の予定者会議、会長・幹事・SAAを励ます会について

委員会報告

雑誌・広報委員会

南 修平 副委員長
ロータリーの友2025年2月号の主要な記事のご紹介。



環境保全・社会奉仕委員会

林 俊行 委員長
能登半島地震・豪雨復興支援推進本部へ送る皆様からの寄付金についてのお礼
和歌山RCから 10万円
地区から 339万3,387円

ゴルフ会 中谷久生 幹事

和歌山市内9RC親睦ゴルフ大会について
ホスト：和歌山北RC
日 時：4月23日(水)
場 所：貴志川ゴルフ倶楽部

親睦・ソング委員会

坂 東 信 幸 委員長
さんか会のお礼について (25名参加)

よってつながりが薄れ、関係性がなくなることです。

FAVTOWN wakayama では、「和歌山とのつながりを維持し、ふるさと愛を行動に変える」ことを目指し、以下の取り組みを行っています。

◎ ふるさと便

転出した若者に地元の特産品を届け、ふるさとを感じてもらうことでつながりの維持を目指します。昨年も多くの企業様に協賛いただき、「和歌山を誇りに思った」「地元企業の温かさを感じた」との声が寄せられました。

◎ イベントとコミュニティ形成

和歌山出身者同士でつながる機会を提供するために、地元を身近に感じられるイベントやコミュニティ形成を支援。昨年は東京で交流イベントを開催しました。

◎ 就職支援

転出した若者と地元企業をつなぐ「オンライン就職座談会」「わかやま就職ゆる相談」を実施。地元で働く選択肢を広げる環境づくりを進めています。

当社と和歌山市が二人三脚で進めるこの取り組みは、地域課題解決の新たなモデルとして評価され、昨年「グッドデザイン賞」を受賞しました。今後も、和歌山の皆さまと活動を広げ、地域課題解決のモデルケースとして確立してまいります。共にふるさとの未来を築くために、ご支援とご協力をお願いいたします。



(左から) 野井会長、卓話ゲスト 平手和徳さん

卓 話

地元が好きでつながる

ファボタウン ワカヤマ
FAVTOWN wakayama

シナジーマーケティング株式会社
ビジネスクリエーション部 部長
平手和徳さん

和歌山県では、県外進学率が約8割に上り、多くの若者が地元を離れています。一方で「地元へ愛着がある」「いつか戻りたい」と考える若者も少なくありません。人口流出の課題は転出ではなく、転出に

「第8回理事会」開催!

2025年2月4日(火) 18:30~

